

交通混雑期における対策について

平成30年7月27日

東日本高速道路株式会社

中日本高速道路株式会社

西日本高速道路株式会社

本州四国連絡高速道路株式会社

1. 交通混雑期の交通の状況

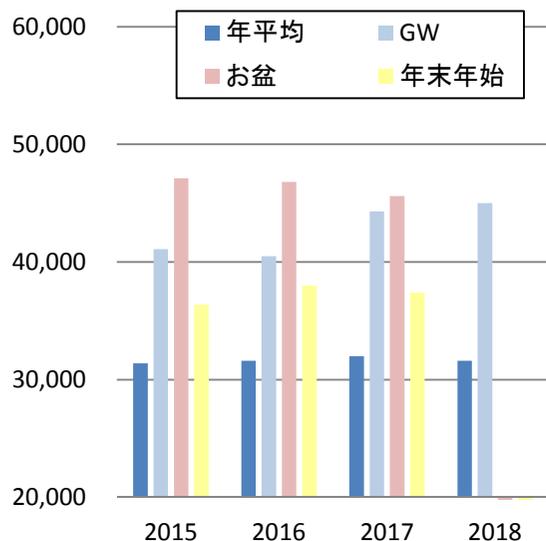
1-1 交通混雑期の交通量の状況



- ◆ 交通混雑期(GW・お盆・年末年始)の交通量は、年平均に比べ大きく増加。過去3ヶ年とも、お盆時期の交通量が最も高く、年平均に比べ約4割増。
- ◆ 交通混雑期は、前後1週間と比べ普通車が増加し、大型車は減少。
- ◆ 大都市部よりも地方部の交通量の増加が大きい。

◆ 年平均と混雑期の比較

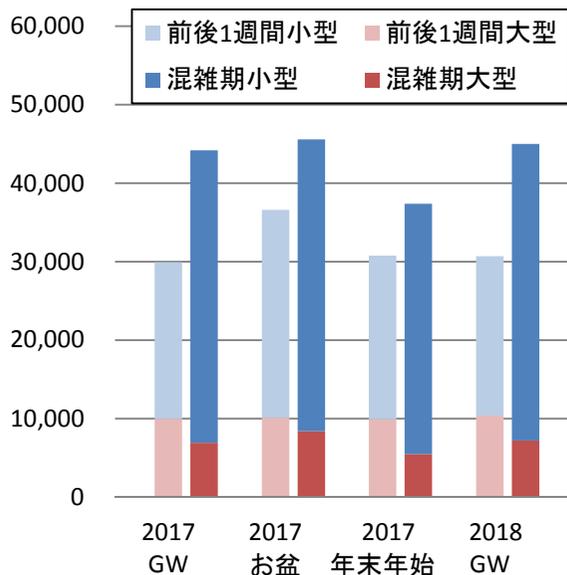
日平均断面交通量(台/日)



※暦年集計、全国代表40断面集計
 ※交通量データはNEXCO東日本、中日本、西日本、本四高速データ
 ※年末年始は、年末の年に集計
 ※2018の年平均は、2018/1/1～5/6で集計

◆ 車種別の比較

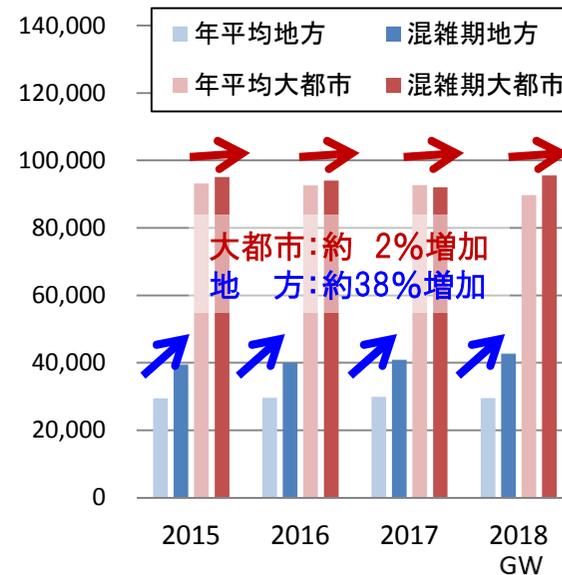
日平均断面交通量(台/日)



※暦年集計、全国代表40断面集計
 ※交通量データはNEXCO東日本、中日本、西日本、本四高速データ
 ※年末年始は、年末の年に集計
 ※交通混雑期とその前後1週間の比較

◆ 大都市部と地方部区間の比較

日平均断面交通量(台/日)



※暦年集計、全国代表40断面+大都市部3断面の集計
 ※交通量データはNEXCO東日本、中日本、西日本、本四高速データ
 ※年末年始は、年末の年に集計
 ※合計43断面のうち、大都市部区間:4断面、地方部区間39断面の比較
 ※2018の混雑期は、GWのみの集計

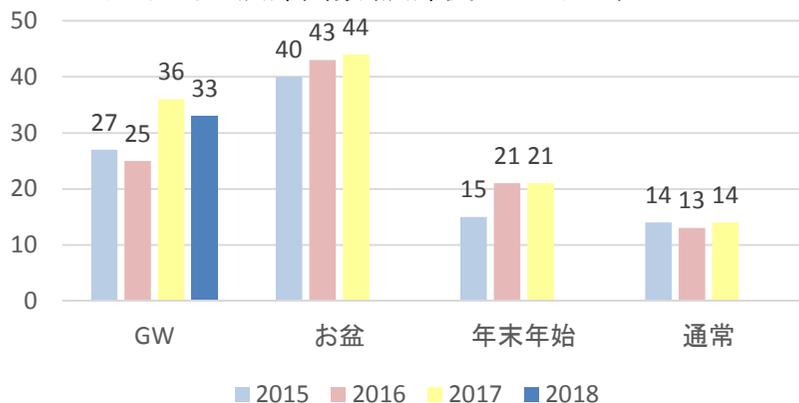
1. 交通混雑期の交通の状況

1-2 渋滞発生状況と全国の主な渋滞発生箇所

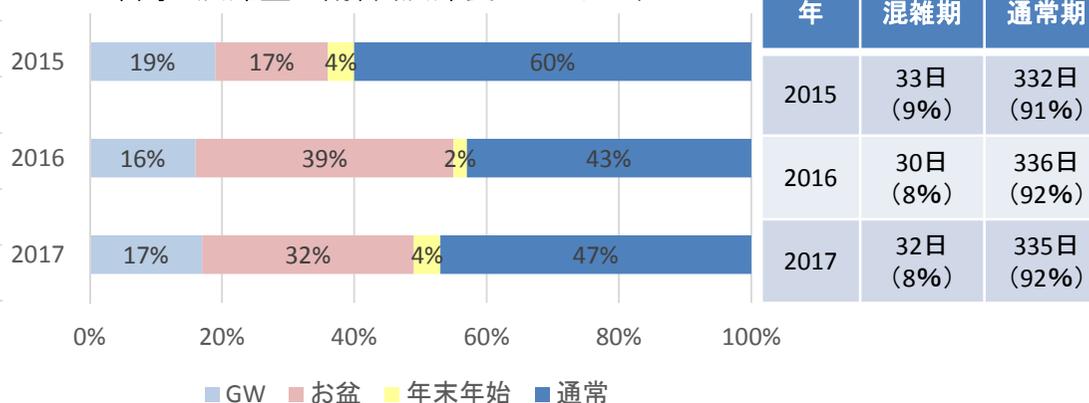


- ◆ 交通混雑期(GW、お盆、年末年始)10km以上の渋滞が1日に発生する回数は、通常期に比べ大幅に増加。
- ◆ 特にお盆では過去3ヶ年の平均が42回/日と通常期の14回/日に比べ3倍近い渋滞が発生。
- ◆ また、渋滞長30km以上の渋滞量は、交通混雑期(GW・お盆・年末年始)が年間発生量の約4割～6割。

◆ 1日あたりの渋滞回数(渋滞長10km以上)



◆ 年間の渋滞量の割合(渋滞長30km以上)



年	混雑期	通常期
2015	33日 (9%)	332日 (91%)
2016	30日 (8%)	336日 (92%)
2017	32日 (8%)	335日 (92%)

※渋滞データはNEXCO東日本、中日本、西日本、本四高速データ
 ※暦年集計、渋滞長10km以上の渋滞回数、全事象を集計
 ※年末年始は、年末の年に集計
 ※通常は交通混雑期を除いた期間の集計

※渋滞データはNEXCO東日本、中日本、西日本データ、本四高速データ
 ※暦年集計、渋滞長30km以上の渋滞量、全事象を集計
 ※年末年始は、年末の年に集計
 ※通常は交通混雑期を除いた期間の集計

◆ 名神高速道路一宮地区

- ・特徴: サグ・JCTとの合流が原因で発生。
- ・渋滞ワーストランキング 16位(2017暦年)



名神一宮JCT付近の渋滞状況 (上り線)

◆ 関越自動車道花園地区

- ・特徴: サグ及びIC合流が原因で発生。
- ・渋滞ワーストランキング 18位(2017暦年)
- ・渋滞対策として付加車線事業を実施中



関越道 花園IC付近の渋滞状況 (上り線)

◆ 東京湾アクアライン

- ・特徴: サグ及びPAの合流が原因で発生。
- ・渋滞ワーストランキング 22位(2017暦年)

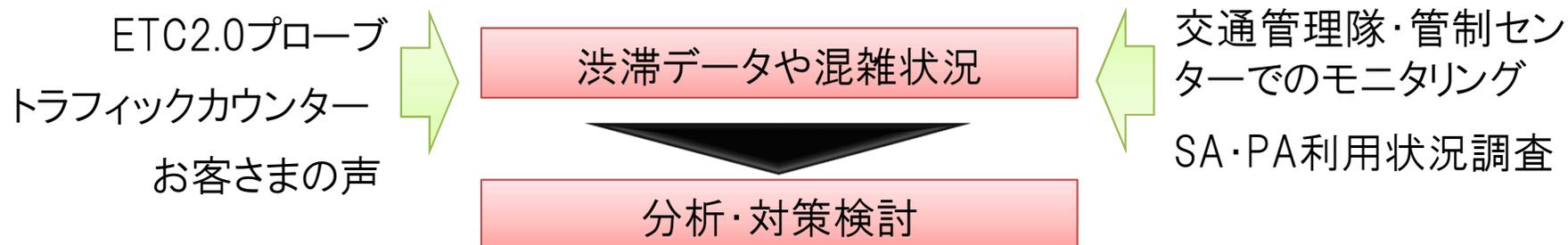


1. 交通混雑期の交通の状況

1-3 高速道路の渋滞・混雑対策



- ◆ 高速道路では交通容量不足や交通混雑期等の一時的な交通量の増加に伴い渋滞・混雑が発生。
- ◆ ETC2.0プローブデータやトラフィックカウンターなどのビックデータを収集・分析し、効率的な渋滞・混雑対策を実施。



- ✓ 交通特性
- ✓ 平日/休日別特性
- ✓ 時間帯別渋滞発生状況
- ✓ 構造要因による渋滞発生状況
- ✓ 経年変化

- ✓ 過去の実績を踏まえ効果的な対策案を選定
- ✓ 渋滞対策検討会などにて関係機関の意見を踏まえ対策方法を決定

ネットワーク整備

- ◆ ミッシングリンク整備
- ◆ ダブルネットワーク化
- ◆ 四車線化

ピンポイント 渋滞対策

- ◆ 付加車線整備
- ◆ 既存幅員内での車線運用変更(暫定)
- ◆ 視線誘導灯の設置

ソフト対策

- ◆ 渋滞回避や所要時間情報提供
- ◆ 渋滞回避広報
- ◆ 料金割引の見直しによる需要調整

交通混雑期の休憩施設の 混雑対策

- ◆ 駐車マスの増設
- ◆ 交通誘導員の配置
- ◆ 駐車マスの満空情報提供
- ◆ 臨時トイレの設置
- ◆ 営業施設の時間延長
- ◆ 交通混雑期の臨時駐車マス

2. 渋滞対策の実施状況

2-1 交通混雑期の対策



- ◆ 経路選択の幅を増やしていただくため、お客さま目線でわかりやすい、きめ細やかな渋滞回避情報や所要時間情報の提供。
- ◆ 渋滞予測の普及を目的に「渋滞予測に関する特設ホームページ」を開設し、渋滞予測の専門家による渋滞回避のポイント解説動画や、報道番組出演などの積極的な広報を展開し、渋滞回避の呼び掛けを強化。
- ◆ 休憩施設では、臨時駐車場・トイレの設置や交通誘導員の配置、きめ細やかな満空情報提供を実施

◆ 渋滞回避情報や所要時間情報提供例

✓ 経路選択による渋滞回避広報の例



※図形情報板(神戸淡路鳴門道)

※大型ポスターによる経路選択広報(淡路SA)

◆ 渋滞予測の専門家による渋滞回避広報の強化

- ✓ 特設ホームページで動画広報
- ✓ 報道番組等で渋滞予測解説



※渋滞予報士(東日本)



※高速道路ドライブアドバイザー-(中日本)



※渋滞予測士(西日本)

◆ 休憩施設での対策

✓ 臨時駐車場



✓ 車種別満空情報



✓ 交通誘導員



✓ 臨時トイレ

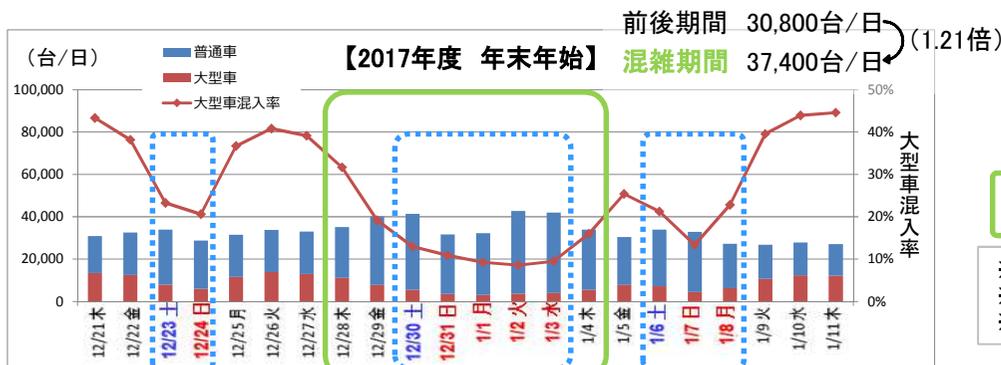
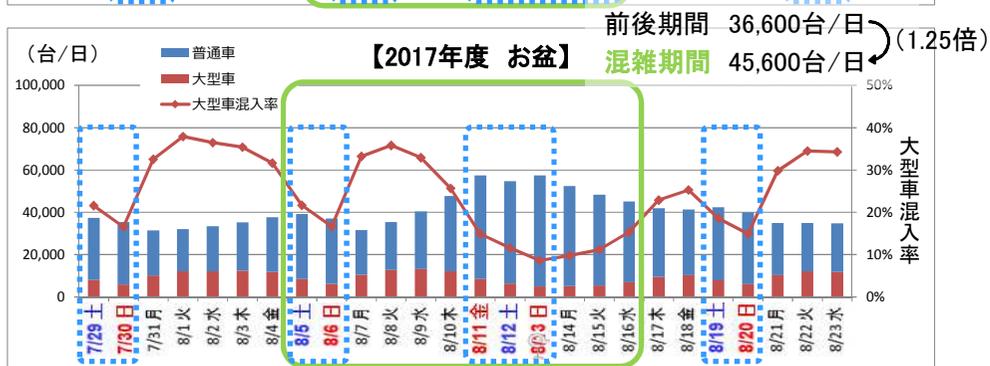
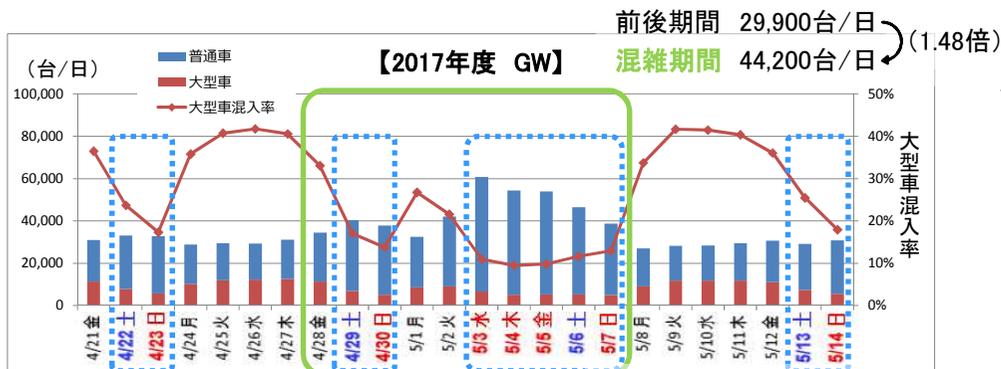


3. 交通混雑期の休日割引適用日変更の試行

3-1 2017年度 交通混雑期の交通量実績(車種別)



- ◆ 2017年度の交通混雑期（GW・お盆・年末年始）の交通量は、前後の通常期と比べ2割以上増加。
- ◆ 車種別では、大型車が減少し、休日割引適用となる普通車が増加傾向。大型車混入率は、前後の平日で約40%に対し交通混雑期では約10%まで減少。



◆ 割引適用日変更による行動変化の可能性

混雑期	過去の渋滞の特徴 (2017年度)	行動変化の可能性
GW	<ul style="list-style-type: none"> ● 10km以上の渋滞回数 : 355回(10日間) ● ピーク日の渋滞回数 : 119回/日 ● 平日/休日で渋滞回数の差が顕著 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光による移動が主体であり、行動変化は起こしやすい。 ● 学校は休暇とならないため、子連れ世帯は行動変化しづらい。
お盆	<ul style="list-style-type: none"> ● 10km以上の渋滞回数 : 532回(12日間) ● ピーク日の渋滞回数 : 93回/日 ● 平日/休日の差がなく、平日も渋滞発生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 帰省による移動が主体。 ● 学校は夏休み。 ● 土日ではない平日に休暇を取得する環境が整っている。
年末年始	<ul style="list-style-type: none"> ● 10km以上の渋滞回数 : 165回(8日間) ● ピーク日の渋滞回数 : 49回/日 ● 年始の特定日のみ交通が集中。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 帰省による移動が主体。 ● 学校は冬休み。 ● 仕事始めの4日に向けて行動。

交通混雑期間

休日割引適用日

※全国代表40断面集計
 ※交通量データはNEXCO東日本、中日本、西日本、本四高速のデータ
 ※年末年始は、年末の年に集計

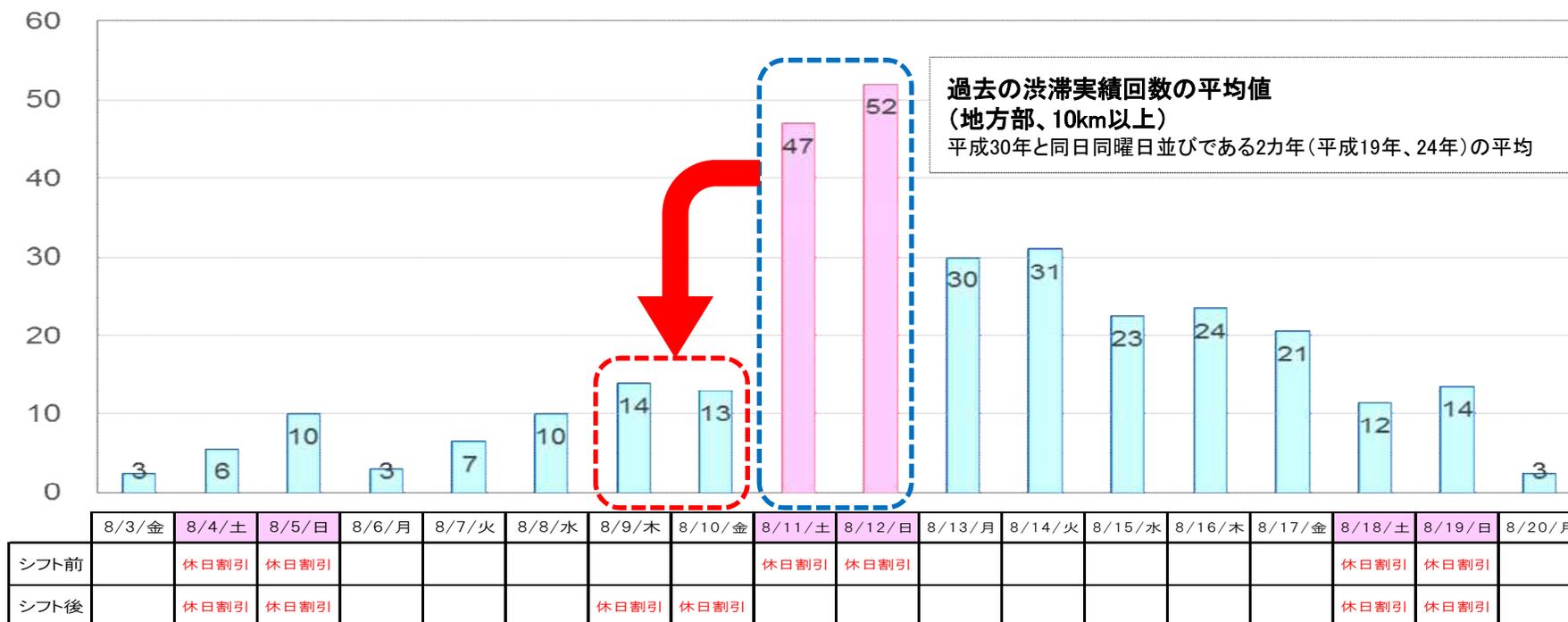
3. 交通混雑期の休日割引適用日変更の試行

3-2 休日割引適用日変更の試行



- ◆ 交通混雑期の中で交通量と渋滞が最も多いお盆期間における高速道路の交通量平準化を図るため、2018年度 お盆時期に休日割引適用日の変更を試行的に実施。
- ◆ 休日割引の適用日を変更(土日⇒近傍の平日)することによる、渋滞緩和効果を実施後確認。
- ◆ お盆時期で最も渋滞回数の多い休日(8/11(土)、12(日))の休日割引の適用を取りやめ、代わりに渋滞回数の少ない平日(8/9(木)、10(金))に休日割引を適用することにより、休日⇒平日への行動変化を促し、渋滞の分散化を期待。
- ◆ 本結果を踏まえ、2018年度 年末年始、2019年度 GW時期における適用を検討。

◆ 過去の渋滞実績回数と割引見直し案



**休日割引の対象日を変更
8/11(土)、12(日)⇒8/9(木)、10(金)**

3. 交通混雑期の休日割引適用日変更の試行

3-3 休日割引適用日変更にあたっての広報計画



- ◆ 休日割引適用日変更の記者発表以降、認知度向上を目指し、広報活動を実施中。
- ◆ また、変更実施直前に、新聞広告などによる集中的な広報を実施し、更なる認知度向上を図る。

広報媒体／実施時期	平成30年7月			平成30年8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
休日割引適用日変更 記者発表(7月4日)	★					
渋滞予測 記者発表(7月25日)			★			
TV広報(渋滞予報士、高速道路ドライブアドバイザー、渋滞予報士によるTV出演、番組内での案内等)		▶				
新聞広告(全国5大紙、地方紙)		▶				
ラジオCM(AM・FM各局)		▶				
Web広告(Google、Yahoo!等)		▶				
会社ホームページ(トップページ、割引ページ、料金検索ページ、動画案内等)	▶					
チラシ・ポスター(休憩施設、料金所等)	▶					
渋滞予測ガイド			▶			
デジタルサイネージ(休憩施設)	▶					
ハイウェイラジオ		▶				
JARTIC(TV、ラジオ、ホームページ)		▶				
横断幕・懸垂幕・情報板(本線等)		▶				
ETCマイレージサービス登録者メール		★		★		
ETCパーソナルカード請求書		★				
大口・多頻度割引の請求書		★				

※上記のほか、JAFMATEのホームページ、利用証明書への印字等による広報も実施

交通混雑期(お盆)

3. 交通混雑期の休日割引適用日変更の試行 3-4 渋滞回避広報(具体事例)

◆渋滞予測の専門家による渋滞回避広報(動画)

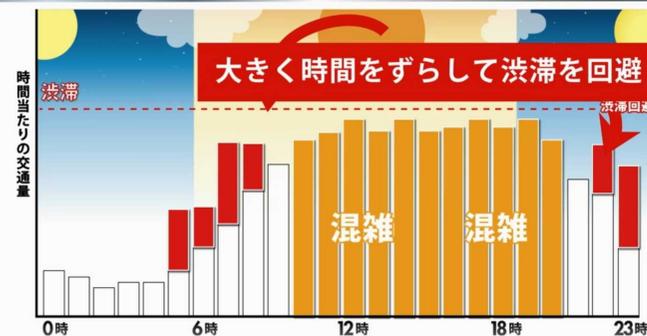
渋滞 POINT

9日(木)の夜から10日(金)早朝の間に都心部を出発することをおすすめ!



10日(金)にお休みが取得できる方は9日(木)の夜から10日(金)早朝の間に都心部を出発することをオススメ

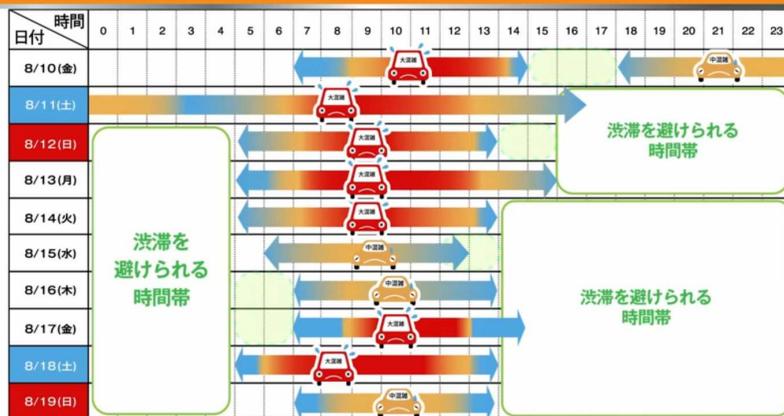
渋滞回避のコツ ポイント①



午前の早い時間帯や 深夜のご利用がオススメ

◆JARTIC(ホームページ)

中央道下り線(東京方面⇒山梨・長野方面)混雑予想



渋滞予測を参考の上
快適な走行計画にお役立てください

更新する 07月26日16時20分現在の情報です。

出発ください。●お盆期間中は高速道路の分散利用を図るため、休日割引の適用日が8/11(土)、8/12(日)から8/9(木)、8/10(金)に変わります。詳しくは

「お盆期間中は高速道路の分散利用を図るため、休日割引の適用日が8/11(土)、8/12(日)から8/9(木)、8/10(金)に変わります。詳しくは各高速道路会社のホームページをご覧ください。」